

入院から退院までの流れ

1

入院相談

入院前にご家族様等と
面談をさせていただきます。

2

入院・合同評価

さあ！
今日からリハビリ開始です。

3

リハビリ開始

担当療法士と、毎日マンツーマン
でリハビリを行います。
一緒に頑張りましょう。

4

定期的な検討会

担当者間で情報を共有し、
チーム全員でサポートします。

5

退院に向けての取り組み

退院後の生活を安全に送って頂
くため、相談の上色々な提案を
させていただきます。

6

退院

自分らしい生活の
再スタートです。

7

退院後の フォローアップ

退院後のサポートも行っています。



入院相談



入院生活やリハビリの参考にさせていただくために患者様の入院前の様子をお聞きします。
当院のご紹介や入院生活についてお話しさせていただきます。
少しでも不安を拭いていただけるように気がかりな点をお聞きし丁寧にお答えします。

入院・合同評価



入院当日に、お身体の様子を確認させて頂くとともにこれからのリハビリに向けて話し合いを行います。
安全に入院生活を送ることができるように移動手段の検討や見守り・介助等の内容も話し合います。

リハビリ開始



担当療法士を中心に、1日2時間～3時間を基本として365日リハビリを行っています。

急性期とは違い、日常生活に必要な実際の生活動作の練習も増えていきます。

訓練が進むと、屋外の歩行練習や患者様のご要望によっては家事動作訓練・屋外歩行練習等、退院後に行う動作に注目したりリハビリを行っています。

また後遺症により認知症や高次脳機能障害の残存された患者様には、その人その人に見合った計画を立ててアプローチしていきます。

療法士全員の経験を活かして、おひとりおひとりのリハビリをより良い形にできるよう努めています。

ご家族様にも随時リハビリの様子を見学して頂き、ご意見を伺いながら進めたいと考えています。

定期的な検討会



担当者間で随時患者様の状況を共有し、細やかな対応ができるよう心がけています。2週間に1回程度、定期的な話し合いの場を設けています。

リハビリの進み具合によって、病棟でのスタッフによる介助や見守りの内容をきめ細やかに変更していきます。

また、病棟でできることを増やし継続して行っていけるようにするために担当者間で意見を共有しています。

話し合いの中でご家族様の協力を必要とすることが出てきましたらこちらからご連絡させていただきスムーズに退院への準備ができるよう援助させていただきます。

退院に向けての取り組み



家事訓練室



入浴シュミレーター



退院の目安時期は早い方で1か月・多くの方で3か月程度を想定し、担当の医療相談員がご相談させていただきながら準備をしていきます。

介護保険の申請や退院後のリハビリ等、制度を十分にご利用いただけるよう支援致します。

必要に応じて家屋環境の写真を頂いたり、実際にご自宅で改修や福祉用具を検討・提案したりなどご自宅で安心して過ごしていただけるように準備していきます。

介護が必要になられた方は、ご家族様に介護の練習をする機会を持って頂き、一時的に帰宅する機会があればそれを活用し準備に不備がないように努め、ご本人様とご家族様の安心を築いていきます。

施設等へ退院となる方も、施設等からご自宅へ帰る機会を一時的にでももっていただけるよう同様に取り組んでおります。また、施設や病院等へ移られる場合にはこちらでできるようになったこと・介助が必要な内容等を細やかにお伝えしていきます。

退院



準備が整う時期をみて、日程調整を
させていただき退院となります。
自分らしい生活の再スタートです。

退院後の新たな目標設定や注意点も
整理し、入院中にお伝え致します。
完全に元の生活とはいかない場合でも、
今までのご自分の生活にできるだけ
近い形で過ごして頂き、担われていた
役割やご趣味等に再チャレンジして
頂きたいと思っています。

退院後のフォローアップ



退院後、ご利用頂ける訪問リハビリテーション（介護保険サービス）を行っています。必要に応じて退院までに提案させていただきます。